

---

# 高速道路でお昼寝

geinguns

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

高速道路でお昼寝

### 【著者】

NO108D

### 【作者略】

NO108D

### 【あらすじ】

バイクに乗つてたらからまれちゃいましたーー道路でお昼寝させられちゃったーーほぼ死にかけーー

俺の好きなもの、  
バイク、ロック、パチンコ、小説を読む、  
、

よく考えたら1人でするものばかりだ！  
ひとりエッチも好きだし、  
、  
、  
、  
、  
、

暗いのかなー、まあ自分でも暗いほうだと思つ。  
職場でも無愛想で通つてるし。

友達に「普段は静かだが怒ると何をするかわからん」と  
と言われたことがある。

暗いし、キレイと何するかわからんって俺つて危ないやつみたいや  
ん。

そんなことないのに、  
、

まあナイスガイにはなれないけど。

暗いし、普段本ばっか読んでるおとなしい俺が  
ひとたびバイクに乗ると人が変わる。

とにかく飛ばす。飛ばしに飛ばす。

飛ばしに飛ばしまくるのだ。

なぜか前に車がいると氣に食わないのだ。

(しかし隼とかベンツAMGとかかなわない相手にはおとなしい)

今は年取ったのでだいぶゆっくりになつたが昔はこの性格でけつじつひどい田に逢つてる。

スピード違反で捕まるくらいはいい。

相手はおまわりさん。とつあえず襲つてきたりはしない。

しかし一般人が相手だとそつぱいかない。

あおつた、あおらないで口喧嘩になることはよしあつた。

一番ひどかったのは、自動車専用道（ほとんど高速みたいなもん）のつえでぼくぼくに殴られたときだらつ。

倒れた俺の鼻先を何台もの車が猛スピードで通りすぎていった。よく生きていたなと警察の人によられてしました。

、、、真夏のある夜、深夜1時に仕事を終え俺は通勤に使つてゐる自動車専用道路を走つてゐた。

100キロぐらいで流して走つてると、追い越し車線を猛スピードで車が走つてきて俺のバイクを見つけるといきなり前にきてブレーキを踏んだり横につけて幅寄せをしてきたりしてきた。

いつもなら無視してぶつちぎる所だが、俺は仕事で疲れてていらいらしていた。

走りながらなんか言つてきたので

俺は叫んだ「車止めて出てこい！ボケが！」

そしたら本当に車を止めて出てきよつた。

俺はよくいる族のに一ちゃんだと思つていたが  
それは大きな間違いだつた。

見るからにヤクザでした。しかもでっかい、、

俺は激しく後悔した。

そして動搖した。

おひできたヤクザにおれは「話せばわかる」とことじつた。  
そして「はなせば、」  
一ヒツいた瞬間

腹に一発くらつた。

うずくまる俺をあらうことかそのヤクザは  
車がびゅんびゅん走つてる道路を俺を引きずつて渡り  
中央分離帯のコンクリート壁に俺の頭をガンガンぶつけ始めた。

ヤクザの連れのねーちゃんが止めてくれなかつたら  
本当に殺されていたかもしれない。

最後に俺のバイクに一発けりを入れてヤクザは走り去つて行つた。

高速道路の上に俺は伸びていた。  
アスファルトがやけに熱かつたのだけはよく覚えている。

真夏のアスファルトは夜中でも暖かいんだと勉強になつた。

そのあと親切な人が救急車を呼んでくれ、俺は病院にいった。

けがは打撲だけだった。まさにラッキーとしか言いようがない。

後で警察に行き長々と事情聴取をされ、

なんと実況見分までしてしまった。

実際に現場に行き、止まり、殴られた、と刑事さん（初めて本物を見た）に説明するのだ。

警察は非常にやさしかつた。

いつも捕まる方だったの、警察は被害者にはやさしここにとを知つた。

半年くらいしてヤクザが捕まつたと連絡がありそいつの弁護士が会いたいと言つてきた。

ヤクザ（本当にヤクザだった）は前科があるので今度は間違いなく刑務所にきになる。

この嘆願書にきみがサインしてくれれば刑務所に行かなくて済む。もちろん病院代やバイクの修理費は出すから、と話だつた。

弁護士が来る前に検察庁で

「検事さん！あなたもぼくられて高速道に置き去りにされた私の気持ちを考えてください！」

といきまいた俺はそこでも弁護士に文句を言いまくつた。

が結局その書類にサインをすることとした。

早く忘れたかったからだ、金に困るだからではない！

無茶は止めて真面目に生きよつ。子供も生まれたことだし、  
心の底からそつ脱つた。

(後書き)

運転は冷静にしましょう。-

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0108d/>

---

高速道路でお昼寝

2011年1月14日21時13分発行